

広報 大洲

No.24

— おおず —

きらめき創造 大洲市
— みとめあい ささえあう 肱川流域都市 —



白滝公園(大洲市白滝)で、11月19日(日)に「滝まつり」、23日(木・祝)に「るり姫まつり」が開催されました。

19日の滝まつりには、芸能発表やモデル撮影会などが催されたほか、23日のるり姫まつりでは、きらびやかな衣装を身にまとった稚児たちが「るり姫」の霊を供養した後、多くの観光客が見守る中、関係者が滝つぼへ花御輿(みこし)を投下し、その霊を慰めていました。両日とも過ぎ行く秋を惜しむかのようなあいにくの天候でしたが、雄大な深谷美を訪れた観光客らは、見ごろを迎えた紅葉を満喫していました。

1
2007

平成19年1月号

- ☆新年のごあいさつ P2～3
- ☆市財政状況の報告 P4～5
- ☆有料広告募集 P6～7
- ☆所得税・住民税が変わります P10～11
- ☆保育所の入所申請 P12

発行／大洲市役所 編集／総務課
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎24-2111

100% PRINTED WITH SOY INK
広報おおずは古紙の配合100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しています。

ごあいさつ



大洲市長 大森 隆雄

新年あけましておめでとうございませう。輝かしい新春を市民の皆様と共に迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

さて、今年は今後10年間の市政指針となります総合計画をもとに、活力と希望に満ちた市民生活の創造に向けて、本格的な施策を実行に移していく大切な年であります。

この2年間、大洲市という大地の中で、土壌を耕し、種をまいてきましたことが、芽を出し、蓄を付け、将来大きく色鮮やかに咲くか否かは、この一年に懸かっていると認識しております。

加えて、厳しさを増す地方財政と行政経費の節減が一層進む昨今、今後ますます組織のスリム化が図られるとともに、三位一体の改革、地方分権の推進によって、各自治体は住民ニーズに即したサービスを迅速かつ的確に提供することとはもちろん、特色のあるまちづくりを競っていくこととなります。

そのような状況のもと、平成19年度も本市の財政状況は引き続き厳しい市政運営が想定されますが、限られた財源を、最大限に有効活用するためにも、行政改革の強い志を持って経常経費を更に削減し、自主財源の確保にも努めてまいります。また、市総合計画の趣旨に沿って、大洲市の新たな魅力の創出など、市民の皆様と共に考え、実行してまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

新年を迎えたこの時、南予地域の東の玄関として、当市の更なる飛躍と共に、市民の皆様にとって健康で明るく幸せな年となりますことを切に願っています、ごあいさつといたします。

新年の



大洲市議会議員長 清水 久二博

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新春をお健やかに
かにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

大洲市は合併後、まもなく3年目を迎えよう
としております。この間、昨年秋の「市民運動
会」に代表されますように全市的な取組みが少
しずつ増え、一つの市としての一体感が醸成さ
れつつありますことはまことに喜ばしいことと
存じます。

このような中、市民の皆様の行政と議会に寄
せる期待は一段と高まり、また厳しい目が注が
れておりまして、市議会といたしましても、本
市の厳しい財政事情に鑑み、率先して行財政改
革の範を示すべく、次期改選時から議員定数を
30人から25人に削減するという決断をいたした
ところでもあります。

新年度からは、区長会、公民館、自治会の三
本柱を核とした行政連絡機構等の新しい体制が
始まるうとしておりますが、現在の市民のため
だけではなく、10年後、20年後の大洲市のある
べき姿を創造し、そのためには何が重要である
かをしっかりと見極めた施策の展開が求められて
いる今日、市議会におきましても、市民福祉の
向上を念頭に、議員一人ひとりがさらなる精進
をすることにより、市民の皆様の付託に応えて
まいる所存でありますので、より一層のご支援、
ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の
ごあいさつといたします。